

別紙「評価項目及び採点基準」

※算出又は提供できない場合は、0点とする。

評価項目		採点方法	採点基準
1. 利便性			
(1)	日本国内での総決済回数	令和6年1月1日から令和6年12月31日までににおける日本国内での総決済回数が多い順に順位をつける。	50点を満点（1位）とし、2位以降5点単位で減点する。
(2)	都内利用可能店舗数	令和6年12月1日時点の、東京都内におけるQRコード決済サービス又はポイントサービスを利用可能な店舗数が多い順に順位をつける。	50点を満点（1位）とし、2位以降5点単位で減点する。
(3)	カスタマーサポート	カスタマーサポート窓口の種類の数によって加点する。	3つ以上手段がある場合20点、2つ手段がある場合10点、1つ以下の場合0点とする。
2. コスト			
(4)	ポイント交換レート	東京ポイントからの交換レートが高い順に順位をつける。	100点を満点（1位）とし、2位以降10点単位で減点する。
3. 技術力・機能充実度			
(5)	稼働率	令和6年1月1日から令和6年12月31日までににおける稼働率が高い順に順位をつける。 稼働率は、{総稼働時間 / (総稼働時間 + 停止時間)} × 100とする。 なお、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までとする。 停止時間については、自社のスマートフォンアプリ及び自社のサーバアプリケーションの障害を起因とし、支払サービスが利用ができない状況が発生していた時間とする。 なお、予め計画されたサービス停止は除く。	10点を満点（1位）とし、2位以降1点単位で減点する。
(6)	APIのパフォーマンス（スループット）	APIの有無を記載すること。 APIのパフォーマンス（スループット）が高い順に順位をつける。 なお、パフォーマンスについては、1秒当たり何件のリクエストが処理できるかを評価するものとする。	なしの場合0点とする。 10点を満点（1位）とし、2位以降1点単位で減点する。
(7)	決済機能のパフォーマンス（スループット）	連携サービスにおける決済機能のパフォーマンスが高い順に順位をつける。 なお、パフォーマンスについては、1秒当たり何件の決済が処理できるかを評価するものとする。	10点を満点（1位）とし、2位以降1点単位で減点する。
(8)	アプリ更新回数	連携サービスにおける令和6年1月1日から令和6年12月31日までのアプリ更新回数が多い順に順位をつける。	10点を満点（1位）とし、2位以降1点単位で減点する。
(9)	生体認証	アプリを利用する際の生体認証機能（顔や指紋など）を利用した不正利用を防ぐための仕組みの有無によって採点をする。	ありの場合10点とし、なしの場合0点とする。
(10)	動的QRコード	利用者がQRコードを提示して決済を行う場合に、表示するQRコード等が一定時間で生成し直される機能の有無によって採点をする。	ありの場合10点とし、なしの場合0点とする。
(11)	決済アプリのセキュリティインシデント	自社のスマートフォンアプリ及び自社のサーバアプリケーションの不具合によって発生した利用者個人情報の漏えいの有無によって採点をする。	なしの場合10点とし、ありの場合0点とする。
(12)	特許取得数	連携サービスに係る特許取得数が多い順に順位をつける。	10点を満点（1位）とし、2位以降1点単位で減点する。